



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東 大

上場会社名 美津濃株式会社

コード番号 8022 URL <http://www.mizuno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務担当 (氏名) 福本 大介

TEL 06-6614-8465

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	81,312	4.2	2,983	△31.6	2,596	△33.4	1,701	△23.7
24年3月期第2四半期	78,051	2.2	4,359	5.7	3,898	2.8	2,230	25.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,124百万円 (△33.3%) 24年3月期第2四半期 1,684百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13.65	—
24年3月期第2四半期	17.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	139,455	78,006	55.8
24年3月期	130,452	77,498	59.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 77,871百万円 24年3月期 77,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	7.8	6,600	20.0	6,400	13.1	3,800	20.9	30.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	132,891,217 株	24年3月期	132,891,217 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	8,148,456 株	24年3月期	8,327,294 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	124,645,482 株	24年3月期2Q	124,575,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※ なお、第2四半期決算の補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、当連結会計年度において、「グローバルビジネスの拡大」、「メーカー機能の強化」、「国内事業基盤の強化」を最重要課題として対処し、グローバルでのシェア拡大とQCD (Quality, Cost, Delivery) 各機能の強化により持続的な成長への基盤再構築に取り組んでまいりました。このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)における当社グループの経営成績は次のとおりです。

ランニングシューズの販売がグローバルで堅調に推移したことや、ゴルフクラブのカスタムフィッティングシステムの推進によりゴルフ品事業が日米で回復を示したこと、さらにセノー株式会社の業績を当第2四半期より連結したことなどにより、売上高は32億6千万円増収(4.2%増)の813億1千2百万円となりました。しかしながら、仕入コストの増加が売上総利益率の低下をまねいたことや、ロンドン五輪にともなう広告宣伝費やプロモーション活動費がかさみ、営業利益は13億7千5百万円減益(31.6%減)の29億8千3百万円となりました。経常利益は主に営業減益により13億1百万円減益(33.4%減)の25億9千6百万円となり、四半期純利益は固定資産売却益があったものの経常減益が影響し5億2千8百万円減益(23.7%減)の17億1百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① 日本

第1四半期に引き続き、成長著しいランニング市場に対して、ランニングスタイルや競技レベルの違いなど幅広いランナーのニーズに応えるため、シューズのラインアップを一層拡充し売上を伸ばしました。また、汎用性の広さから好評のマルチトレーニング用アパレルが、さまざまなスポーツシーンで一般アスリートからジュニアまで、多くのユーザー層に愛用され販売は堅調に推移しました。さらに、夏の電力需給の懸念に対して、涼感素材<ミズノ アイスタッチ>に代表される機能性アパレルが、節電ムードのなか広く受け入れられました。ゴルフ品では、カスタムフィッティングビジネスの先駆者としての強みを背景に、ゴルファーの多様な要望に対応することでゴルフクラブの販売額が回復の方向を示しました。

なお、当第2四半期より、セノー株式会社を連結対象としています。

この結果、売上高は35億6千9百万円増収(6.3%増)の606億7千8百万円となったものの、海外生産品の仕入コスト増による売上総利益率低下に経費増が加わり、営業利益は7億5千5百万円減益(27.2%減)の20億1千8百万円となりました。

② 欧州

欧州については、ロンドン五輪におけるミズノブランドの露出効果を背景に、主力販売チャネルである専門店やプロショップを中心に、ランニングシューズのシェア拡大を図りました。また、ゴルフクラブのカスタムフィッティングビジネスにより付加価値の高い商品の展開に努めました。

しかしながら、EU域内の経済状況の悪化による個人消費の萎縮に加え、天候不順がこれに追い討ちをかけ、欧州での営業活動は苦戦を強いられました。さらに、ユーロ安はドイツやフランスにおける仕入コストの増加(売上総利益率の低下)に拍車をかけ利益を大きく押し下げました。

なお、第2四半期連結累計期間における、英ポンドの為替換算レートは125.83円(前年同期129.51円)であり、ユーロの為替換算レートは101.09円(前年同期114.08円)でした。

この結果、売上高は4億6千4百万円減収（8.1%減）の52億7千1百万円となり、営業利益は1億4千1百万円減益（40.8%減）の2億4百万円となりました。

③ 米州

米州販売事業は、シェアアップを図るランニングシューズを筆頭に、ゴルフクラブのカスタムフィッティングによる拡販を推し進めました。比較的高価格帯を主力とするランニングシューズは、専門店チャンネルに加え大型量販店チャンネルでも取扱いを増やし売上を伸ばしました。また、特にアイアンの製造技術に裏打ちされたブランド力とフィッティングの実績を武器に、ゴルフクラブの売上は堅調に推移しました。しかしながら、海外生産品の仕入コスト増と経費増が利益を圧迫しました。

なお、第2四半期連結累計期間における、米ドルの為替換算レートは79.48円（前年同期81.74円）であり、カナダドルの為替換算レートは78.83円（前年同期83.63円）でした。

この結果、売上高は4億3千2百万円増収（3.9%増）の116億7千5百万円となりましたが、営業利益は3億5千2百万円減益（34.8%減）の6億5千9百万円となりました。

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアの各販売拠点では、従来より事業を牽引してきたランニングシューズを中心に販売活動の強化に取り組みました。それによって、台湾や豪州では健闘したものの、中国では経済成長ペースの鈍化が重石となり低調に推移しました。また、当セグメント全体として、海外からの輸入の仕入コスト増が利益を押し下げる要因となりました。

なお、第2四半期連結累計期間における、台湾ドルの為替換算レートは2.68円（前年同期2.81円）であり、中国元の為替換算レートは12.60円（前年同期12.49円）でした。

この結果、アジア・オセアニアの売上高は2億7千7百万円減収（7.0%減）の36億8千6百万円となり、営業利益は1億1千万円減益（57.6%減）の8千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ90億2百万円増加し1,394億5千5百万円となりました。当第2四半期よりセノー株式会社を連結の範囲に加えたことを主な要因として、現金及び預金（34億1千万円の増加）、土地（21億5千4百万円の増加）、のれん及びその他無形固定資産（75億2百万円の増加）などが増加したことによるものです。一方で、受取手形及び売掛金は季節的な要因により44億6千3百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ84億9千4百万円増加し614億4千8百万円となりました。セノー株式会社の株式取得資金の調達目的などにより長期借入金（64億4千万円の増加）が増加したことや、資産の増加と同様の理由で繰延税金負債（固定）（26億5千5百万円の増加）が増加したことが主な要因です。一方で、支払手形及び買掛金は季節的な要因により15億5千2百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億8百万円増加し780億6百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加10億7千8百万円でした。一方で、その他有価証券評価差額金が4億1千7百万円減少しました。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.3%から55.8%へと3.5ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年8月8日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

セノー株式会社は、重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めていません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,987	15,398
受取手形及び売掛金	35,605	31,142
有価証券	756	756
商品及び製品	24,773	25,381
仕掛品	893	1,104
原材料及び貯蔵品	1,357	1,415
繰延税金資産	2,156	2,358
その他	4,244	4,156
貸倒引当金	△928	△922
流動資産合計	80,845	80,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,493	18,119
土地	15,171	17,326
その他(純額)	2,307	2,353
有形固定資産合計	35,972	37,799
無形固定資産		
のれん	—	2,039
その他	1,705	7,167
無形固定資産合計	1,705	9,207
投資その他の資産		
投資有価証券	7,421	6,739
繰延税金資産	1,796	2,358
その他	5,759	5,440
貸倒引当金	△3,047	△2,880
投資その他の資産合計	11,929	11,657
固定資産合計	49,606	58,664
資産合計	130,452	139,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,079	16,527
短期借入金	5,103	5,267
1年内返済予定の長期借入金	1,800	1,800
未払法人税等	721	925
返品調整引当金	229	229
その他	9,795	9,353
流動負債合計	35,729	34,102
固定負債		
長期借入金	9,630	16,070
繰延税金負債	94	2,749
再評価に係る繰延税金負債	2,830	2,830
退職給付引当金	1,321	1,909
資産除去債務	234	248
その他	3,113	3,537
固定負債合計	17,224	27,345
負債合計	52,954	61,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,197	31,206
利益剰余金	27,712	28,791
自己株式	△3,027	△2,963
株主資本合計	82,020	83,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	864	446
繰延ヘッジ損益	△142	△593
土地再評価差額金	△1,145	△1,145
為替換算調整勘定	△4,259	△4,009
その他の包括利益累計額合計	△4,683	△5,301
少数株主持分	161	135
純資産合計	77,498	78,006
負債純資産合計	130,452	139,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	78,051	81,312
売上原価	44,572	47,251
売上総利益	33,479	34,060
販売費及び一般管理費	29,120	31,076
営業利益	4,359	2,983
営業外収益		
受取利息	79	101
受取配当金	107	103
その他	193	231
営業外収益合計	380	436
営業外費用		
支払利息	174	165
売上割引	242	198
為替差損	292	287
その他	131	172
営業外費用合計	841	824
経常利益	3,898	2,596
特別利益		
固定資産売却益	2	221
退職給付制度改定益	56	—
関係会社清算益	17	—
その他	0	—
特別利益合計	76	221
特別損失		
固定資産売却損	0	10
固定資産除却損	3	0
投資有価証券評価損	130	27
災害による損失	12	—
特別損失合計	146	38
税金等調整前四半期純利益	3,828	2,779
法人税等	1,558	1,046
少数株主損益調整前四半期純利益	2,270	1,733
少数株主利益	39	31
四半期純利益	2,230	1,701

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,270	1,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	△417
繰延ヘッジ損益	△424	△450
為替換算調整勘定	△55	259
その他の包括利益合計	△585	△608
四半期包括利益	1,684	1,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,649	1,083
少数株主に係る四半期包括利益	35	40

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	57,108	5,735	11,242	3,964	78,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	595	8	20	2,468	3,093
計	57,704	5,744	11,262	6,433	81,145
セグメント利益	2,773	346	1,012	192	4,324

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び
当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,324
セグメント間取引消去及びその他の調整額	35
四半期連結損益計算書の営業利益	4,359

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	60,678	5,271	11,675	3,686	81,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	593	7	7	2,917	3,526
計	61,272	5,278	11,683	6,604	84,839
セグメント利益	2,018	204	659	81	2,964

2. 報告セグメントごとの資産の金額が変動する要因となった事象の概要

「日本」セグメントにおいて、セノー株式会社の発行済株式の全てを取得し、同社を連結の範囲に含めています。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「日本」セグメントにおいて、13,795百万円増加しています。

3. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,964
セグメント間取引消去及びその他の調整額	18
四半期連結損益計算書の営業利益	2,983

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。

当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響額は軽微です。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、セノー株式会社の発行済株式の全てを取得し、同社を連結の範囲に含めています。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、2,039百万円です。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。